

わたしの好きな よりのい

No.132

折原上郷集落内に、春を迎えると黄色の絨毯を敷き詰めたような場所が現れます。そこは大きな菜の花畑です。



黒瀬寿雄さん
(折原上郷)

この時季、私は畑へ農作業に向かう道中、よくこの場所に立ち寄り、春の到来を実感します。畑に近づくと「ブーン！」という音が畑のあちこちから聞こえてきます。腰を下ろして目を凝らすと、たくさんのミツバチが、後ろ足に大きな花粉団子をつけて花から花へとせわしなく働いています。そのまま見上げると菜の花の黄色と空の青と



<折原上郷の菜の花畑>

のコントラストの見事なこと。加えて遠方には、写真のように町内が見下ろすことができ、集落の里山の景観を満喫できます。

皆さんのお近くにも普段気づかない美しい景観があるはず。心地よい季節ですから、散歩がてらに探してみるのもおもしろいと思います。



わが町の



ガーデニングの達人 No.1



渡辺恵子さん (関山)

花のある暮らし。それはとても素晴らしいものです。

春のうららかな日差しの中で花に囲まれて過ごすとき、きっと誰もが心が穏やかな気持ちに満たされるのではないのでしょうか。

自然が育んだ花たちは、私たちの毎日の暮らしに彩りと楽しさを

このコーナーは、「寄居生活学の達人」として町に登録をいただいている町民講師の方々を中心に、そのうちくちや技術、体験などを町民の皆さんに紹介するコーナーです。

運んでくれます。

さあ、待ちに待った新しい春です。春の喜びを全身で感じながらガーデニングを楽しみましょう！手始めにあなただけのハンギングバスケットを製作してみませんか。

ハンギングバスケットはイギリスで発祥された花飾りの形で、空間を利用して壁やフェンスなどに吊るしたり掛けたりして植物を育て、色々な草花を寄せ植えて楽しむコンテナガーデンのことです。一言で言えば空中花壇ということになります。

製作するに当たっていくつかのポイントがあります。

①ふさわしい土を作る《培養土に保水性のあるパーライトなどの軽量の土をプラスします》②水遣り上手になる《乾燥しやすいので根までしっかりと届くようにします。水遣りにふさわしい時間帯は午前中です》③環境を工夫する《日

照や花の性質を考え、飾る場所と植える植物の組み合わせを工夫します》

これらのポイントをマスターして「植える」「飾る」「育む」、空間の花飾りハンギングバスケットの魅力に触れてみてはいかがでしょうか。これからの季節には、サフィニア、インパチェンス、バーベナなどがお勧めです。

容器を吊るして目線の高さで垂れ下がる優美な姿と群れ咲く花を觀賞した時、床や地面に植えられた時とは違う植物のリズミカルな表情を楽しむことができます。

寄居町の大自然のパノラマをバックに、公共の場や学校、あるいは各ご家庭の玄関・窓辺・テラスなど暮らしの空間を鮮やかにハンギングバスケットで彩り、花を通して人と人を結び、花であふれる活力ある寄居町をめざしていきたいと思います。